

令和元年度 第4回岡崎城跡整備委員会会議録

開催日時：令和2年2月13日（木）午後2時00分～午後4時30分

開催場所：岡崎市役所 西庁舎5階 西501号室

出席委員：6名

三浦正幸委員・瀬口哲夫委員・丸山宏委員・加藤安信委員
奥田敏春委員・堀江登志実委員

欠席委員：1名 中井均委員

説明のために出席した事務局職員：10名

社会教育課：中村耕課長・柴田英代副課長・菅沼貴之岡崎城跡係係長・
山口遥介主査・中根綾香主事

公園緑地課：河合寿八係長・坂田有紀主任主査

傍聴者：なし

次第

1 議題

植栽管理計画について

2 現地確認

(1) 清海堀について

(2) 菅生川端石垣について

議事内容

1 議題

植栽管理計画について

事務局：配布資料①に基づき説明（事務局）

【質疑応答】

委員：各エリアの状況を記載しているだけでどういった管理をしているのかの記載が必要。過去にどの程度の費用が発生し、今後どうしていくのか。また、日常管理と事業化すべきものの区分が必要。高木の伐採などは日常管理で出来ないのも、その点が分ける必要がある。植栽管理の基本的な考え方だが、眺望点を確保するといったことではなく、天守は見え隠れすることが必要。人は歩くものだから、眺望点だけ確保するだけではない。植栽管理方針について、日常管理と事業化する管理、年間の管理計画が抜け落ちている。今までどのような管理していたのかを記載したカルテみたいなものを作成していく必要があるのではないか。

石垣を損傷する樹木の伐採とあるが、日常管理では出来ないから事業化する必要がある。石垣に生育している稚樹の除去などの管理方針を作成する必要がある。

土塁の保全については慎重な検討とあるが、何も方針が書いていない。保全の方法を考えないといけない。天守への見通し等あるが、景観木等を念頭に入れた管理が必要。

枯損木の除去については当然のことであるから、安全性の観点から記載する必要がある。

土壌の観点が抜け落ちているのでその辺りの記載がないといけないと思う。土壌調査を行う必要があるが、こちらは史跡の範囲内になるので、文化財の担当者の立会いの上で進めていかないといけないと考える。

樹木リストが作成中となっているが、位置図を含めて基本的なデータを管理方針として調査を行う必要がある。

事務局：毎木調査は完了し、位置図は作成している。今回の説明は現時点でまとめた項目までである。

委員：どのエリアを優先的に行っていくといったことも記載の必要がある。

事務局：内郭1、本丸エリアから進めていきたいと考えている。

委員：イチョウ、ヒマラヤスギが外来種となっているがここでいう外来の定義は。実際の外来の定義は明治以降に入ってきているものとなる。その定義でいうと外来種でないものもあるが。

事務局：確認します。

委員：イチョウ並木について何とか保護したいと記載があるが、誰の意見なのか。個人的な意見のように感じるが。

事務局：公園緑地課として保護していきたく考えている。

委員：表現が個人的な思いのように感じる。イチョウの管理の手法を記載する方が良い。落ち葉や実を片付ける等の記載で良いのではないか。

委員：イチョウの剪定の手法も雑であるので一度検討するように。

委員：桜については全てソメイヨシノか、在来種はないのか。江戸時代の備前曲輪、武家屋敷の中の中根という藩士の屋敷図があり、広大な敷地なのだが、塀のところに桜を植えている記録がある。ソメイヨシノは近代以降に植樹されたものであることが定説なので、在来種が武家屋敷にあって城内にないはずはないと思うのだが、その点について調べたことはないのか。

事務局：今、確認したところ桜についてはほとんどソメイヨシノしかない。

委員：ソメイヨシノというなら明治以降に植えられていると考えられる。

事務局：ソメイヨシノの寿命はどの程度になるのか。

- 委員：東京の上野公園の前に日本最古のソメイヨシノがあるが150年程度になる。
- 委員：管理の仕方が問題。土壌改良や肥料を与えていけば寿命も延びていく。植栽管理にその点も記載をしないといけないと思う。ソメイヨシノも土壌調査を行い、どのようにしたら良いか専門家に意見を聞く必要がある。
- 委員：エリアの線引きについて、場所によっては石垣の天端で、他の場所では石垣の根元である。どのような基準なのか。その線引きをしっかりとる必要がある。石垣の下端でエリア分けをした方が良いのではないかな。
- 事務局：その点も踏まえエリア分けについては再考する。
- 委員：月見櫓台下に梅林があり、保持していくと記載があるが、梅林自体は他にもあるのだから、そこに保持する必要はないのではないかな。曲輪が狭いので、石垣を見学するための溜まり場がない。
- 委員：植栽管理の中でどういったものを見せるかといったことの中で検討していただく必要がある。
- 委員：石垣の保全是重要なものなので、石垣を毀損するものは第一に行う必要がある。
- 事務局：石垣に関してはエリアに関係なく最優先で進めていく。
- 委員：意見を参考に進めていくように。

2 現地確認 清海堀、菅生川端石垣 指摘事項なし